



すっかり久しぶりの更新になってしまいました。お察しの通り?!年度末・年度初めと公私共にバタバタしてしまっていて、頭の中でお伝えしたい事は沢山ありながらもお恥ずかしながら文章にするに至らず、あっという間に5月も下旬を迎えてしまいました。新年度を迎えてから約2ヶ月が経ち、新しい環境に慣れてくる一方で少しずつ肩の力が抜け、疲れが出てきている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。我が家の次女は、0歳児クラスで1番月齢が低く、保育園全体の中で一番小さかった前年度から、同じクラスに元々いた在園児よりも多くの新しいお友達を迎えて1歳児クラスに進級し、下の学年にも可愛い赤ちゃんたちが入園してきて、一挙に先輩になった感じなので、場所や先生は変わらずとも、小さな娘にとっては大きな環境の変化なのかなと思っています。熱出すかな?甘えん坊になるかな?と様子を見ながら、ある意味親の方が慎重になって日々過ごしていましたが、元々の性格なのか、1年で予想以上の逞しさを身に付けたのか、全く動じず、毎朝喜んで「ばぁーばーい!」と送り出してくれます。それでも自分なりに心の安定を図るルーティーンがあるようで、昨年乗らせてもらっていた散歩用バギーで小さな子が園庭を回っていると足をかけて自分も乗ろうと必死で健闘したり、毎朝、毎夕、廊下に置いてある昨年度使っていた食事用のラックに座ってニヤニヤしたり、架空の食事を食べる真似をしたりしています。一緒に10秒数えたり、自分の気持ちが満たされたりすると「おりるー」と降りてくれるのですが、朝は特に電車の時間を気にしながら向き合う母と心から椅子に座る事を楽しむ娘との攻防戦が繰り返されています。

先日帰宅してから歌を唄って楽しそうにしていた次女から突然「ママがいいよ、えーん」という声が聞こえてきました。「どうしたの、抱っこする〜?」と夕飯を作る手を止め近くに向かうと、全然泣いてもないし、ポカーンとした顔でこちらを見て再び唄い始めました。どうやら、日頃保育園で歌っている手遊びや歌と同様、お友達がママを求める声も耳に入ってきているようです。思わず笑ってしまいましたが、毎日色々な刺激を受けながら生活しているのだなと思うと微笑ましく、言葉の習得時期ならではの愛らしい姿だなと思いました。イヤイヤや自己主張もぐんぐん育ち、「かわいい♡」だけではいかなくはなっているのも本音ですが、今しか味わえない日々成長する姿を楽しんで行けたらと思います。

